

河川整備課 敬

201

昭和初期の上流域開発 菅権、有野、藤原、鹿の子台
雨量の町一体 三市を範囲一体の規模開発
に伴う許可時の審査新制度の無責任の
検討の結果から 環境変化による地球温
の上昇は近年中に 雨水の増加も想定予想され
たから 当時、時雨の降水量が 40mm が 20年
後の増加を 仮定して 我々の予測と判断
出来た 野放牧帯の乱開発を許可法符
た 開発後の降雨の浸透、増加による水
量の増加、これを受ける河川容量、流速等々
が 急増していた、その測定感が伴わな
かったのか、私の記憶で 558年、激激降雨
で、我が家床下浸水した、当時河川の調査
もなかった、20年後の 116年10月 同程度と思
える降雨量と思えたが、果し相違 我が家床
下の 1Mの 大被害となった、その因果、原因と
結果を、本地位主の 6戸の 小排水、
向井隣保の 6戸の 小排水 3戸の 大被害 全壊
と 免れたが、大被害だった、故の原因を私等
が 調査して 結果を、市営の河川課に 郵
便で 上奏した、河川中流サ、容量と水流速を
算定し、水流防壁を分を 精査すれば水位の
上昇の原因が判明する、河川は連続して 雨
の降雨量の 総、流量、流速が 変化 停滯 止る

水質が急上昇し、その原因が特定、急激な
 水質の悪化から入水するまで、排水処理を後回し
 した結果だ（口から入った物は必ず戻らざるものだ）
 一方で急激な水質の悪化が、理の当然だ
 川中、調整池に流れる容量を算定の上、防汚施設
 を除去整備。後述に水質の改善化を計る事
 が急務だ。排水処理の仕末より、野の整備が
 市だ。県だ、予算が云々等々、勝手な理の明
 けを以てする現状、兵庫にて産するべきだ、又下流
 市と江一帯となり、兵庫の整備を急ぐべきだ。
 予算が云々等々、百年に一度の事、不幸が伴い、治水
 治水、云々等々、補修の面を考慮すべし、神戸
 市も兵庫県も市民の水難だ。これを新設
 する事は、補修の為の予算政府にも優先要
 求し、早期に増設補修を施すべきだと思ふ。こ
 れが市民の知恵だ。信じて下さる。100年を
 過す事は、崩壊の心配もすべし。時期が到来に
 いるのと違ふ事だ。一区域の心配がすよ
 治水場下流約150m位置に岩のつり橋上部
 の岩を先取り除く方法を検討し、要請し
 ぬの意向を申し付けます。

11月18日12月10日 農林環境政策部より、意見交換会の申し出
 出願書提出者から、文書で意見を申し付けます。